

# 計 算 書 類

( 第 12 期 )

平成 24 年 4 月 1 日から

平成 25 年 3 月 31 日まで

アストライ債権回収株式会社

# 貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,399,493	流動負債	65,876
現金及び預金	209,308	未払金	49,795
買取債権	3,143,436	未払法人税等	9,590
前払費用	1,038	未払費用	1,450
仮払金	44,658	賞与引当金	3,164
その他	1,052	その他	1,875
固定資産	514,691	固定負債	2,931,430
有形固定資産	8,301	長期借入金	2,930,000
建物	2,345	長期未払金	1,430
器具備品	5,956		
無形固定資産	3,256	負債合計	2,997,306
ソフトウェア	2,287	(純資産の部)	
電話加入権	969	株主資本	916,878
投資その他の資産	503,133	資本金	2,500,000
関係会社株式	100	資本剰余金	2,000,000
敷金及び保証金	672	資本準備金	2,000,000
長期貸付金	501,000	利益剰余金	△ 3,583,121
その他	1,360	その他利益剰余金	△ 3,583,121
		繰越利益剰余金	△ 3,583,121
		純資産合計	916,878
資産合計	3,914,185	負債・純資産合計	3,914,185

# 損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
買取債権回収額	3,908,278	
その他の営業収益	176	3,908,454
営業費用		
買取債権原価	3,152,218	
販売費及び一般管理費	513,512	3,665,731
営業利益		242,723
営業外収益		
受取利息	249	
その他	4,696	4,946
営業外費用		
支払利息	71,091	
その他	2,680	73,772
経常利益		173,897
税引前当期純利益		173,897
法人税、住民税及び事業税	44,518	44,518
当期純利益		129,378

## 【重要な会計方針】

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
関係会社株式 移動平均法による原価法
2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
買取債権 個別法による原価法
3. 固定資産の減価償却方法  
有形固定資産 定率法  
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)  
当社は、法人税法の改正に伴ない、当事業年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（建物を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。  
なお、この変更による影響は軽微であります。
4. 引当金の計上基準  
賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
5. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。なお、控除対象外消費税等は当期の費用として処理しております。
6. 連結納税制度の適用  
連結納税制度を適用しております。

## 【貸借対照表に関する注記】

1. 有形固定資産の減価償却累計額 29,450 千円
2. 関係会社に対する金銭債権債務  
短期金銭債権 2 千円  
長期金銭債権 501,488 千円  
短期金銭債務 43,333 千円  
長期金銭債務 2,930,000 千円
3. 取締役に対する金銭債権債務  
短期金銭債務 3,995 千円  
長期金銭債務 1,430 千円
4. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

## 【損益計算書に関する注記】

1. 関係会社との取引高  
営業取引 86,487 千円  
営業取引以外の取引高 71,059 千円
2. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

## 【税効果会計に関する注記】

繰延税金資産の主な発生の原因は、繰越欠損金であります。  
なお、繰延税金資産に対する評価性引当額 462,554 千円を計上しております。

## 【金融商品に関する注記】

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金等の安全性の高い金融資産に限定し、また、資金調達については親会社からの借入による方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

借入金は、主に運転資金に係る資金調達であり、金利の変動リスクに晒されておりますが、全て親会社からの借入であります。

### 2. 金融商品の時価に関する事項

平成25年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預金	209,308	209,308	-

#### (注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

##### (資産)

#### (1) 現金及び預金

預金は、全て短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
長期貸付金(※1)	501,000
長期借入金(※2)	2,930,000

(※1)株式会社アセットアーツへの貸付金 501,000 千円(平成26年12月31日を期限とする総額 600,000 千円のコミットメント契約に基づくものであり、契約期限については、期日到来時に更新する予定)であり、同契約は極度方式であるため、将来キャッシュフローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価の開示を行っておりません。

(※2)アイフル株式会社からの借入金 2,930,000 千円(平成26年3月31日を期限とする総額 6,000,000 千円のコミットメント契約に基づくものであり、契約期限については、期日到来時に更新する予定)であり、同契約は極度方式であるため、将来キャッシュフローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価の開示を行っておりません。

#### 3. 長期貸付金及び長期借入金の決算日後の返済予定

長期貸付金及び長期借入金は、「2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品」の(※1,2)に記載の通り、返済予定が決定していないことから記載しておりません。

## 【関連当事者との取引に関する注記】

### 1. 親会社

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権の所有(被所有)の割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	アイフル株式会社	(被所有) 直接 100	資金の援助 役員の兼任	資金の借入(注) 利息の支払(注)	1,530,000 70,842	長期借入金 -	2,930,000 -

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) アイフル株式会社からの資金の借入については、市場金利等を勘案した利率(6ヶ月毎見直し)による極度額契約を締結しております。

### 2. 子会社

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権の所有(被所有)の割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	株式会社アセットアーツ	(所有) 直接 100	資金の援助	資金の貸付(注)	500,000	長期貸付金	501,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 株式会社アセットアーツへの資金の貸付については、当社の調達金利等を勘案した利率(6ヶ月毎見直し)による極度額契約を締結しております。

## 【1株当たり情報に関する注記】

1株当たり純資産額	10,187円54銭
1株当たり当期純利益	1,437円54銭

## 【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。